

第9回 虎ノ門フォーラム 『ロシアへの反論』出版記念を兼ねた懇親会

主 催： 特定非営利活動法人ユーラシア21研究所
日 時： 平成20年1月10日(木) 18:00～20:00
場 所： 海洋船舶ビル10階

プログラム

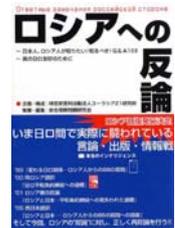
18:00～19:00 第9回虎ノ門フォーラム

「領土と国境 一日露関係についてのヨーロッパからのヒント―」

講師： **佐瀬 昌盛** (SASE, Masamori)
防衛大学校名誉教授、安全保障問題研究会会長

配布資料・領土と国境 一日露関係についてのヨーロッパからのヒント― (レジュメ)
・領土と国境 一欧州からのヒント― (独立行政法人 北方領土問題対策協会刊)

19:15～20:00 『ロシアへの反論』出版記念を兼ねた懇親会



◎終了後、書籍の販売を行います。

『ロシアへの反論』 企画・構成：ユーラシア21研究所/執筆・編集：安全保障問題研究会 自由国民社
〔虎ノ門フォーラム特別価格〕1,500円

『テュルク族の世界 一シベリアからイスタンブールまで』 廣瀬徹也 東洋書店
第8回虎ノ門フォーラム(12月19日)講師のご著書(数に限りがございます)
〔著者割引価格〕500円

これからの虎ノ門フォーラムのご案内

- 1月23日(水) 18:00～ 「ビルマ(ミャンマー)の民主化と日本の役割」
講 師： 田辺 寿夫(ジャーナリスト)
- 2月 6日(水) 18:00～ 「メドベージェフ政権下での日露関係の見通し」(仮題)
講 師： 石川 一洋(NHK 解説委員)
- 2月20日(水) 18:00～ 「北朝鮮の脅威と韓日の対応戦略」
講 師： 高 永喆(コリア国際研究所首席研究員、元韓国国防省情報本部北朝鮮担当官・日本担当官)

「領土と国境 ——日露関係についてのヨーロッパからのヒント——」講演要旨

佐瀬 昌盛

2008年1月10日

1. なぜ、このような講演題目を選んだか
2. 北対協理事長から聞かされた「中学校の先生たちの悩み」
3. 「ボーダーレスのヨーロッパ」——美しき誤解
4. 「ヨーロッパの領土・国境問題」と「日露間の領土・国境問題」との違い
5. 「国有の領土」論が成り立つか、成り立たないか
6. 領土・国境問題で第2次大戦後の西欧が出した知恵——ポスト冷戦期の旧東欧地域への知恵の移転
7. バラデュール・プラン
8. 「国際的に承認された領土・国境」のリスト
9. 国境は厳然と存在する。が、不可侵原則の下、その敷居を下げるができる。すれば、「ボーダーレス」であるかのように見える。
10. 日露間には国際法上確定された国境・領土関係が未存在。それが必要。それが成れば、国境の敷居を下げることもできよう。
11. 北方領土の対日返還要求に対するEU議会の理解